



地震



大雨・洪水



土砂災害



台風・強風

自分の**命**を守る行動が、みんなの**未来**を守る。

災害時に とるべき**行動**

いざという時にあわてないために
正しい知識と準備を身につけましょう。

備えよう
明日のために



避難所



地域で助け合う

日ごろからのつながりが、
大きな力になります。



備えを日常に

日常の中で少しずつ、
できることから始めましょう。



正しい情報を活用する

信憑できる情報をもとに、
落ち着いて行動しましょう。

この冊子をご家庭で保管し、
定期的に見直しましょう。



まず確認：避難の原則

災害時は、情報を集めたうえで、自分自身で避難を判断します。



「自らの判断で避難する」

避難するかどうかを決めるのは、みなさま自身です。

判断のために必要なこと

1 情報を収集
気象情報・避難情報を確認

2 安全を確認
自分と家族の安全を最優先

3 周囲と協力
近所への声掛け・避難支援

ポイント：支援を行うときも、自分のいのち・安全が第一です。

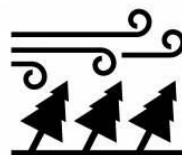
風水害のときの行動

大雨・台風・竜巻などの恐れがある場合は、早めの情報収集と避難判断が重要です。

風水害



①情報収集
気象情報や自治体からの
避難情報を確認



②避難・避難支援
より安全な場所へ避難／
要援護者の避難を支援



③避難生活・支援
避難所運営／在宅避難者
への支援

洪水・浸水・土砂災害等が発生し、自宅での生活が難しい場合は、避難所での生活や在宅避難者支援につながります。

地震災害のときの行動

地震発生直後は、まず自分と家族の身の安全を確保します。

地震災害



①身の安全を確保
落下物・転倒物から身を守る／火の始末



②安否確認・救護
家族・近所の安否確認／
消火・救出・救護



③避難・支援
避難誘導・避難支援／避難所生活・在宅避難者支援

大規模災害では、消防・警察・自衛隊などがすぐに駆けつけることが難しい場合があります。地域での助け合いが必要です。

行動を「自助・共助・公助」で整理

自分で守ること、地域で助け合うこと、公的支援につなぐことを意識します。

自助 自分・家族を守る

- ・ 身を守る行動
- ・ 情報の収集
- ・ 火の始末、初期消火
- ・ 家族の安否確認

共助 地域で助け合う

- ・ 近所への声掛け
- ・ 安否確認、被害情報収集
- ・ 消火、救出、救護
- ・ 要援護者の避難支援

公助 公的支援につなぐ

- ・ 避難情報の発信
- ・ 指定避難所での支援
- ・ 物資等の支援
- ・ 共助と連携した支援

共助は「安全第一」。無理をせず、二次被害を防ぐことが大切です。

避難する場所の違い

「避難場所」と「避難所」は役割が異なります。



指定緊急避難場所

命を守るために、災害の危険から一時的に避難・集合する場所。

分類：① 緊急一時避難場所
② 地域避難場所



指定避難所

被災者が一定期間滞在できる、生活の場としての機能を有する施設。

分類：① 拠点避難所
② 二次避難所

福祉避難所

指定避難所での生活が困難な、高齢者・障害者・妊婦など、配慮が必要な方のための避難施設です。必要に応じて開設されます。

覚えること：まず命を守る場所へ避難。その後、生活が必要な場合に避難所へつながります。